

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 ☎ 055-949-8605

URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般

【中央】
【葦山】



インドラネット
桐野夏生／著
角川書店

平凡で取り柄のない晃の唯一の誇りは、高校時代に野々宮空知と親しかったこと。だが、美しく聡明なカリスマ空知がカンボジアで消息を絶った。晃は友人を追う旅へ。

一般

【葦山】



それでも世界は回っている1
吉田篤弘／著
徳間書店

博物館の“保管室”に勤務する14歳のオリオは、師匠・ベルダの突然の死により室長を引き継ぐ。そして保管記録に必要な万年筆の幻のインクを求めて、冒険が始まる。

一般

【中央】



華の譜
-東福門院徳川和子-
梓澤要／著
新潮社

戦国の名残のなか、朝幕関係の架け橋となるため、後水尾天皇に嫁した家康の孫娘。天皇家と将軍家の対立を超え、世の安泰に全身全霊を捧げた和子の波乱万丈の生涯。

児童

【中央】



かんじるえ
大谷陽一郎／さく
福音館書店

海辺、牧場、田んぼ、池、花火…移り変わる夏の情景。よく見るとすべて「漢字」で描かれた驚きの絵の世界。ちなみに表紙に使われている漢字は、空・雲・鳥・手。

新着本コーナーから

- 一般 黒牟城 米澤穂信／著【葦山】
- 一般 非弁護人 月村了衛／著【中央】
- 一般 本心 平野啓一郎／著【葦山】
- 一般 文豪たちの断捨離 豊岡昭彦／編【葦山】
- 一般 ラク旨無限そうめんレシピ ソーメン二郎／監修【中央】
- 児童 そらまめくんのまいにちはたからもの なかやみわ／作【中央・葦山】

8月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	21
22	⑳	24	25	26	◇	28
29	⑳	31				

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

8月のおはなし会

中央図書館 14日(土) 11:00～
葦山図書館 14日(土) 14:00～
28日(土) 14:00～
(予約不要)

くぬぎ会館こども広場
19日(木) 10:10～
☎ 0558-76-1346 (要予約)

お知らせ

図書館クイズに挑戦して、メダルをゲットしよう!

- 第1弾 -
- 第1問 わにかがみついたのは、ヒッポの体のどの部分?
- 第2問 ごきげんななめのてんとうむしは、晩ごはんになにを食べた?
- ☆答えがわかる絵本を図書館で探してね。正解者にメダルをプレゼントします。
- ☆夏休み中に第4弾まで出題。
- ☆第2弾以降の問題と解答期間は図書館でチェックしてください。
- ☆全問正解すると、なにか良いことがあるかも!?

文化財通信

その194

伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡

第8回 北条義時に関わる伝説・伝承

(安千代と池田の大蛇)

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428

今回は長岡地区江間に伝わる北条義時に関する伝説・伝承のお話をしましょう。第6回で、北條寺の阿弥陀如来坐像は、義時が子の安千代の冥福を祈って建立したと、また、第7回では、珍場神社は、安千代の霊を鎮めるために若宮八幡として祀ったのがはじまりであることを書きました。義時の子、安千代とはいったいどんな人物なのでしょう。

まずは、江間の寺や神社に伝わる安千代の伝説をまとめてみます。江間の池田には、かつて大蛇の棲む池があったそうです。北条義時の長男安千代は千葉寺へ勉強のため通っていましたが、ある帰り道に池の堤を歩いていると、突然大蛇が現れて安千代を呑みこんでしまいました。知らせを聞いた義時が弓矢で戦いましたが、大蛇の目を射ただけで、安千代を助けることができませんでした。大蛇は池底に沈み、やがてどこかに姿を消してしまいました。

一説には、大蛇は2匹いて、日守山を越えて浮島ヶ原の方に逃げたともいわれ、日守山の男坂は雄の大蛇が、女坂は雌の大蛇が越えたところ

とも言われます。池はやがて浅くなり田んぼとなったため、この一体を池田と呼ぶようになったということ。池田と呼ばれる場所は、現在の伊豆中央道江間料金所南側一帯で、「小池」、「下池」、「上池」、「蛇渡」、「堤下」などの小字が残っています。千葉寺は、現在の千代田団地にあつたとされ、かつては「寺洞」と呼ばれる場所があったと地元の方が語っています。また、珍場神社の棟札の写しには、「地場寺(千葉寺)」という名前があります。さらに、南江間にある正蓮寺の由緒書には、慶長5年(1600)に小田原北条氏の家臣、渡邊半左衛門が建立した寺で、その折に千葉寺を移したと書かれています。

さて、一般の歴史書には、義時の長男は執権を継いだ泰時と書いてあります。『吾妻鏡』や中世に成立した物語にも、安千代という子どもは出てきません。安千代は地元だけに伝わる謎の子どもで、実在の人物かどうかは確かめることはできません。しかし、江間の各地の寺や神社に共通して伝わり、江戸時代の由緒



池田の大蛇伝説の地(長岡地区北江間)

書などに記されていることから、義時・安千代と大蛇の話は、まったく根拠のない伝説ではなさそうです。この地で起こった大きな事件と、それに立ち向かう義時の姿を伝説の形で語り伝えたものなのかもしれません。皆さんは、この伝説をどのように謎解きしますか。